

## 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会第4回研修会 概要

日時：平成29年2月5日（日）14：30～17：00

会場：上井公民館

1 出席者 山本、松原、芳村、植嶋、西上、清水、新川 7名

### 2 概要

\* 4テーマについて、k j法で意見交換。

① **アドの活動をどのようにすれば良いか。とくに鳥取県アドとして事業はできないものか。**  
(以前から芳村さんに課題をいただいているところです)

#### 【他団体との連携】

- ・ 県内・地域・団体事業との連携・まず他事業への協力
- ・ 県民会議とのコラボ
- ・ いろいろな団体との共催で関わる・公民館・警察・市町村民会議等
- ・ 放課後児童クラブ事業への参画
- ・ 子ども支援センターにボランティアとして出かける。(会員以外も誘って)
- ・ 県アド、現状では単独事業は無理→共通の働きかけ視点を決めアドからのメッセージを伝える。各立場で保護者に話す機会を捉え伝え、アドの存在を知ってもらう。
- ・ 今行われている個人の活動をあげる。会員と一緒にできること、やりたいこと、県成青少年事業(アドへ声掛けされたもの)

#### 【アドの立ち位置明確化】

- ・ アドの立ち位置が揺らいでいる。条例化法律で明確化。行政へ働きかけ認定されれば企業等から支援も受けられる。
- ・ (県アド、現状では単独事業は無理→共通の働きかけ視点を決めアドからのメッセージを伝える。各立場で保護者に話す機会を捉え伝え、アドの存在を知ってもらう。)再掲

#### 【アド活動の総括とまとめ】

- ・ アド活動紹介事業の実施。各会員の活動事例を紹介し、HPや通信で紹介。
- ・ 各人の実践をまとめる。民生委員、補導員等各立場で、アドとしてどうかかわったか等。
- ・ 今行われている個人の活動をあげる。
- ・ 今行われている個人の活動をあげる。会員と一緒にできること、やりたいこと、県成青少年事業(アドへ声掛けされたもの)

#### 【研修会の実施】

- ・ 現在、行っている研修会の門戸を広げ行えないか?講演・パネルディスカッション
- ・ テーマを絞って青少年問題研修会を開催(ネット、乳幼児期の子育て、親子教室)

#### 【提言書作成】

- ・ アド研修会で意見交換(貧困、携帯、不登校等)→県内の市町村へ提言書を

② **仲間をどのようにしてやしていくか。県養成講座の開催と全日本養成講座受講生の派遣。**

#### 【県民会議・推進指導員党への働きかけと研修会の企画実施】

- ・ 県民会議の青少年育成指導員を仲間に。研修会をアドで持つ。
- ・ 県民会議・推進指導員研修をアドで企画実施
- ・ 青少年育成推進指導員への働きかけ
- ・ 県民会議推進指導員、市町村担当者、他団体の青少年担当者との連携

#### 【現アド研修会を養成講座に】

- ・ 入門講座の実施 → 現会員研修を養成講座に位置付ける。(年3回)

#### 【人材リストアップ】

- ・ ①の研修会の参加者をリストアップし働きかけする。
- ・ 会員周りで、候補者をリストアップし働きかける。

#### 【声掛け】

- ・ 年間、新しい仲間を何人入れるか目標を決める。
- ・ 声掛けしかない。

### 【アドの強み、利点を】

- ・アドの強み、プレミア、お得感 → アドは何をすべきか明確に！
- ・アドに所属している利点は何か？
- ・自分たちが、やらなきゃならんという危機感、責任感
- ・仕事でできないと言われたら、引き下がってしまう。やりがいのある仕事だとわかってもらうには？「私も笑顔、周りの人も幸せな気持ちに」をキャッチフレーズに頑張る
- ・ボランティアだけでは続かない。

### ③「子どもが延びるチャンスを生かす」運動をどのように具体化していくか～家庭での手伝い・役割を持たせるには・地域に出番を創る・増やす（子どもの参画機会）には・我らはどのように活動すべきか

#### 【大人へのアプローチ】

- ・大人が変われば子どもも変わる。大人（親、祖父母）へのアプローチ。公民館行事へ。
- ・子供を動かすには、まず親を動かす。どう動かす？

#### 【子どもの体験・地域活動の推進】

- ・是非やりたい。親がやってしまう。体験させ、自分の力に気づき、考え、工夫しチャレンジする喜びを味合わせる。
- ・地域行事に子どもの参加を。季節行事の復活参加（とんどさん、秋祭り、運動会等）

#### 【アドのPR】

- ・地域活動の場面にアドとして複数参加協力し、アドをアピールする。
- ・保育園や小学校の保護者会へ、講演会の手伝いをする情報提供をする。

#### 【関係団体への働きかけ】

- ・この運動を知っていただくため、各市町村民会議に「スローガン」を挙げていただくよう働きかける。
- ・PTA、公民館、市町村民会議と関わりを深め、家庭の日の見直し、また新たな運動として「子ども（家族）と一緒に〇〇をしよう」（食事、家事、外出など）
- ・関係団体への働きかけ（教委、PTA、公民館、）
- ・各市町村で作成している、「子育て〇カ条」をより推進するよう、アドとして働きかけ

### ④NPO法人化について、鳥取県アドはどう考えているか？

#### 【財政面、事務面への課題】

- ・費用面、世話をする人の面から無理。
- ・仕事、他に役職を持ちながら、本当にできるのか？
- ・財政面で心配。（各県の実情がある）→今の取り組みをちょっと充実させる。
- ・今の段階で、財政、組織、実績等をきちんと求められるなら、心配。
- ・活動するには資金が必要→収入確保のために法人化→助成金
- ・事業をすることに追われてしまわないか？続けて行う保証があるか？

#### 【今の現状からの課題・不安～】

- ・不安 → 仲間を増やすのか問題視されている中、メンバーが増える先の見通しは？
- ・今、アドの仲間の活動状況が分かっていない。法人化するためには、対外的に示せるものがないといけない。
- ・法人化後、各人の講演等の謝金をどう扱うか？金銭的な課題もある。
- ・全国。各県の具体的な姿が見えないので、わからない。

### 3 その他

- ・2月、いろいろな行事の関係で、欠席された方が多くて申し訳なかったです。
- ・今回は、KJ法で、参加いただいた皆さんの率直なご意見をまとめてみました。素晴らしいアイデアをたくさんいただき、ました。是非、来年の取り組みに、入れていきましょう。「新しい鳥取県アド、全日本アドを目指して！」